

## 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日:令和 7年 2月 22日

公表:令和 7年 3月 21日

事業所名 総合教育・療育支援研究所 にじいろCOMMON

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5	0	利用定員には十分な広いスペースがある	広すぎて子どもが離れ過ぎないように気をつける
	2	職員の配置数は適切である	5	0	職員の配置は共有カレンダーに書き込んでいる	配置が手薄にならないように事前に職員配置を調整する
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	5	0	設備は段差の少ないつくりになっている。	少々段差でもつまづかないように注意する
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	5	0	PDCAサイクルを意識して業務にあたっている	朝の打ち合わせで目標設定と打ち合わせを徹底する
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5	0	アンケート結果を元に職員間で改善について話し合う	改善点がわかるようにまとめておく
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5	0	自己評価はホームページで公開している	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0	5		
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5	0	毎月研修の機会を確保している	研修を通じてより良い支援に繋げる

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	5	0	契約時の面談で話を伺っている	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を分析した上で作成している
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5	0	ISSPやSM社会生活能力チェック表を使用して把握している	利用者全員の分析を心がける
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	5	0	活動プログラムは職員全員で立案している	常に活動プログラムの改善を考えていく
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5	0	同じ活動プログラムが連続しないようにしている	曜日で固定化する以外の方法も考える
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	4	1	長時間支援の時間配分を考慮している	課題を細かく設定できるよう話し合っていく
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	5	0	個別と集団のバランスを工夫している	個別と集団活動の内容のバランスを考え、計画に入れていく
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5	0	朝礼でスケジュールや課題を打合せをしている	特に送迎の役割について無駄のないように考えていく
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5	0	支援後の記録や会話でフィードバックしている	休みの職員にも翌日伝達していく
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5	0	その日の支援記録を写真を入れて書いている	書いた職員以外も支援記録の確認をする
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	5	0	モニタリングをとおして計画の見直しをしている	モニタリングも複数の職員で行う
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	5	0	ガイドラインに沿った支援を心がけている	基本活動を複数組み合わせ、より質の高い支援を目指す	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5	0	担当者会議には、子どもの状況に精通した者が参画している	引き続き子どもの状況に精通した者が参画する
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	5	0	電話やHUGメール、面談などで行っている	学校との連携も適切に行っていく
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	5	0	保護者様を介して連携体制は整えている	今後も継続して連携していく
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	5	0	保護者を介して情報は共有をしている	まだ未就学児を受け入れていないが、今後に備えておく
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	5	0	移行時の情報共有はしている	今後移行する者が出た場合は、情報の共有をし適切に対処する
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5	0	内部での研修は行なえており、他機関との連携も出来ている	積極的には行なえていない為、今後は取り入れていく
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	2	3	イベントなどを通して機会を設ける努力はしている	まだ活動機会が多くない為、積極的に機会を設けていく
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	5	0	参加する意欲はあり、環境は整っている	積極的には行なえていない為、今後は出来る範囲で参加していく
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5	0	HUGや電話、面談等を通じて行なえており共通理解を持っている	情報共有できる機会を多く設け、認識のズレが生じないようにする
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	4	1	保護者会を定期的に行なう、支援できる体制を整えている	積極的には取り入れてない為、今後は取り入れていく

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5	0	主に契約面談時に説明している	契約時に限らず、必要時には適宜行う
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5	0	相談には心理師を中心に助言をおこなっている	保護者様の悩みなどの相談にはできる限り時間を作るようにする
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	3	2	保護者会や個別懇談会を開催している	事業所内での保護者会の開催を行う
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	5	0	苦情に対して、迅速で適切な対応を心がけている	苦情が出た場合は、上長にも報告相談を行う
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5	0	HUGやSNSを活用して情報発信を行っている	今後もHUGやSNSを活用して発信を行っていく
	35	個人情報に十分注意している	5	0	個人情報記載の文書は必ずシュレッターにかけている	個人情報の扱いについて徹底していく
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5	0	児童・保護者が理解できるように配慮している	相手が情報を理解できるよう伝達方法を考える
37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	2	3	まだ地域に開かれた事業運営はできていない	イベントなどをとおして、地域と連携していく	
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	5	0	マニュアル策定はできている	周知の徹底ができていないので徹底していく
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	4	1	定期的に訓練を行っている	半年に一度訓練を開催していく
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5	0	定期的に虐待防止研修を受けている	研修を受け、研修内容を職員間で共有していく
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	5	0	身体拘束適正化について研修を受けている	身体拘束適正化の3つの原則を保護者にも伝えていく
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5	0	新規の子どものアレルギーの有無については必ず職員に周知させている	医師の指示書やアセスメントシートに従って対応する
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	2	3	毎日のフィードバックで共有している	事業所内で起きたヒヤリハットの記録を見える場所に掲示する